

JGA 第三支部研修報告

「熊野古道」

6月25日(月)10:00に紀伊田辺駅前熊野古道研修参加者14名の晴れやかな笑顔が集まった。念願の梅雨の晴れ間で青空が広がり、新宮行きバスでスタート地点の牛馬童子口を目指す。日本の東西からそれぞれ半々ずつ集まった通訳ガイド同士は早速情報交換を始める。会ったばかりとは思えない和やかな会話を弾ませながらの移動中も重要地点の滝尻王子のチェックは抜かりなく、手にはメモ帳を放さずにこれはという情報をか書き留めていく。講師に地元の語り部でもある栗林 紀美さんを迎えて、その懇切丁寧なお話一同耳を傾けながらゴールの継桜王子までの五キロ強の道程を熊野の歴史に思いを馳せながら歩いた。ウォーキングガイドとしての基本姿勢・古代から今に至る熊野古道に関わる人々の織り成す物語、植物の説明など講義内容は多岐に渡り、踏み締める一步一步が参加者の熊野古道への親しみを深めて行く。ランチはさんま寿司・目はり寿司と地元の味に舌鼓を打ち、午後には早くも次回研修の相談に話が及ぶ。網羅しきれない歴史的背景については栗林講師から主要参考図書の推薦もあり、参加者の熊野古道ガイドへの意欲を最大限に高めると共に、たとえ熊野古道ガイドの機会がなくてもご案内先から熊野へ向かわれる、または熊野から戻って来られるお客様との共通の話題を得る、という成果を上げる研修となった。

JGA 熊野古道研修は次回本宮大社を目指し、継続して実施予定である。地域を深く知ると同時に案内する側の基本姿勢を再確認する研修は、熊野古道とウォーキングツアーに関心のある多くの通訳案内士に有益なネットワーク作りの場となるであろう。

